

日本台湾学会第 14 期第 1 回会員総会〔抄録〕

日時 : 2025 年 5 月 24 日 (土) 17:25-18:00
場所 : 関西学院大学 G 号館 3 階 301 教室 + オンライン (Webex)
司会 : 天神裕子
議長 : 深串徹
書記 : 前原志保

司会の天神裕子会員が議長及び書記の立候補を求めたところ、立候補の申し出がなかったため、深串徹会員が議長に、前原志保会員が書記に指名され、承認された。

第 13 期北波道子理事長挨拶

報告

1. 第 14 期理事選挙結果 (池上選挙管理委員長)

第 14 期の理事選挙結果につき報告された。2025 年 2 月 10 日に大阪経済法科大学で開票作業が行われ、投票総数 97 (有効 95、無効 2) があり、得票の多い順に規定では 30 名だが、同点で 31 名が理事に選出された。

2. 第 14 期理事長の選出 (北波第 13 期理事長)

北波理事長より、第 14 期第 1 回理事会の結果、川上桃子会員が理事長として選出されたことが報告された。

3. 川上桃子第 14 期理事長挨拶および常任理事紹介

川上理事長より北波前理事長に対し謝辞が述べられた後、次のような所信表明があった。これまでの学会運営方針を引き継ぎつつ、デジタル化の推進、ニュースレターのリニューアル、定例研究会のパワーアップ、各種学会業務への謝礼等の検討などが示された。また、川上理事長より、第 13 期常任理事等について紹介された。

4. 2024 年度業務報告 (第 13 期理事)

(1) 五十嵐総務担当理事

現在の会員数について報告がなされた。2025 年 5 月 22 日現在の会員数 453 名 (一般会員 377 名、学生会員 54 名、シニア会員 22 名)。過去 1 年間で入会 19 名、シニア会員への移行 5 名、退会 12 名、総数としては、8 名増となる。

(2) 山崎会計財務担当理事

2024 年度の会計決算の総括として、会費納入率 74.25%であったと報告された。また、純利益、純支出の差し引きが-298,715 円で 2021 年度以来の赤字運営であることが説明された。

(3) 宮岡広報担当理事

ウェブサイト、ブログ、メール情報配信サービスの運用状況について報告された。メール情報配信サービスは前回総会から 31 回配信、ニュースレターは 2 回発行した。また、イベント開催等の情報周知依頼に際するお願いが周知・徹底された。

(4) 赤松編集委員長

『日本台湾学会報』第 27 号では、シンポジウム原稿 2 本、論文 6 本、研究ノート 1 本、書評 7 本、エッセイ 1 本が掲載予定である旨が報告された。また、『日本台湾学会報』が学術刊行物指定を受け、第 27 号より適用される旨が報告された。

(5) 清水企画委員長

第 27 回学術大会には分科会企画 3 件（うち 2 セッション企画 1）、自由論題 10 件の応募があり、全て採用された。台湾文学学会会員からの応募はなかった。

(6) 洪国際交流担当理事

対外発信強化プロジェクトとして、優秀論文の英訳支援と JCEAS (Journal of Contemporary East Asian Studies) への推薦などを行った。

(7) 定例研究会〔統括：明田川理事〕

2024 年度の定例研究会は、関東部会で 8 回、関西部会で 1 回、台北部会で 3 回開催された。

5. 事務局移転

これまでの 10 年間、事務局はアジア経済研究所に置かれていた。第 14 期以降、事務局を東京大学東洋文化研究所（松田研究室気付）に移転した。

議題

1. 2024 年度決算案（会計監査報告）

- 山崎第 13 期会計財務担当理事より、2024 年度決算案について説明がなされた。
 - ・ 2023 年度分として寄付をいただいている対外発信強化プロジェクトの支出が 2024 年度の収入にずれ込んだ。
 - ・ 為替差益の誤差：2023 年度より円高による差損
 - ・ 学会報印刷費、発送費：予算の 800,000 万円に対して 867,405 円に（郵送費値上げによる）
- 根岸監査から会計監査報告がなされた。2024 会計年度の決算報告書及び会計資料を、下野会員とともに監査を行った結果、適正であることが確認されたことが報告された。
- 決算案は、異議なく原案通り承認された。

2. 2025 年度予算案

2025 年度予算案について、第 13 期会計財務担当の山崎理事より説明が行われ、異議なく原案通り承認された。

3. 日本台湾学会規約の改正（五十嵐第 13 期総務担当理事）

五十嵐第 13 期総務担当理事より、日本台湾学会規約第 5 条の会員区分の整理、第 9 条の事務局に関する事項の修正が提案された。

日本台湾学会規約の改正案は、異議なく原案通り承認された。

4. 会計監査の選任

川上理事長より、会計監査の人選について推薦があった。2025 年度まで引き受けていただいている下野寿子会員に加え、池上寛会員が 2026 年度までの 2 年任期で推薦された。

以上の議案について、異議無く承認された。

5. 第 28 回学術大会について

川上理事長より、第 28 回大会は立教大学にて、2026 年 5 月 23・24 日、2026 年 5 月 30・31 日または 6 月 6・7 日いずれかの日程で開催され、湊会員が第 28 回学術大会実行委員長に就任する案が報告された。日程は 10 月ごろ決定する予定である。

以上の議案について、異議無く承認された。

6. その他

- 清水企画委員長より、来年度大会に向けた呼びかけが行われた。
- 赤松編集委員長より、学会報への投稿呼びかけが行われた。

以上